

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2020 年 4 月 22 日

秋田県知事 佐竹 敬久 殿

病院名 由利組合総合病院
開設者 秋田県厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長 小野地章一 印

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 25 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 26 から 36 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030065 臨床研修病院の名称：秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院

記入日：西暦 2020年4月20日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	0300365	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ サトウ ジュン 氏名(姓) (名) 佐藤 隼		役職 総務管理課 係長 (内線 2230) (直通電話(0184)27—1247) e-mail:jimusu@yuri-hospital.honjo.akita.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ アキタケンコウセイノウギョウキョウドウクミアイレンゴウカイユリクミアイソウゴウビョウイン 秋田県厚生農業協同組合連合会由利組合総合病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)	〒 015-8511 (秋田 都・道・府・県) 由利本荘市川口字家後38 電話：(0184)27—1200 F A X：(0184)27—1277 二次医療圏 の名称：由利本荘・にかほ		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) (基幹型・協力型記入)	フリガナ アキタケンコウセイノウギョウキョウドウクミアイレンゴウカイ タクエリジリジチョウ オノチ ショウイチ 秋田県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 小野地 章一		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)	〒 010-0976 (秋田 都・道・府・県) 秋田市八橋南二丁目10番16号 電話：(018)864—2621 F A X：(018)864—2675		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型・協力型記入)	フリガナ サトウ カズナリ 姓 佐藤 名 一成		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)	http://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号：030065

臨床研修病院の名称：秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院

		※		
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)			常勤： 75 名、非常勤（常勤換算）： 5、5 名 計（常勤換算）： 80、6 名、医療法による医師の標準員数：37、5 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入	
10. 救急医療 の提供の実績 (基幹型・協力型記入)	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2018年11月12日、告示番号：第 1528号	
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 (2.) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関	
	救急専用診療（処置）室の有無		(1.) 有 (431.000) m ² 0. 無	
	救急医療の実績		前年度の件数： 13,086 件（うち診療時間外： 12,225 件） 1日平均件数： 36 件（うち診療時間外： 33 件） 救急車取扱件数： 2324 件（うち診療時間外： 1553 件）	
	診療時間外の勤務体制		医師： 2名、看護師及び准看護師： 3名	
	指導を行う者の氏名等		* 別紙4に記入	
	救急医療を提供している診療科		内科系（1. 有 0. 無） 外科系 (1.) 有 0. 無） 小児科 (1.) 有 0. 無） その他（ ）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)			1. 一般： 602 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 4 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床	
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)			* 別紙2に記入	
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)			1. 一般： 17.2 日、2. 精神： . 日、3. 感染症： . 日 4. 結核： . 日、5. 療養： . 日	
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)			正常分娩件数： 221 件、異常分娩件数： 84 件	
15. 臨床病理 検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)	開催回数		前年度実績： 10回、今年度見込： 12回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載	
	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙4に記入	
	剖検数		前年度実績： 11 件、今年度見込： 12 件	
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室 (1.) 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。	
16. 研修医のための 宿舎及び研修医室の有無 (基幹型・協力型記入)	研修医の宿舎		(1.) 有（単身用： 20戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室		(1.) 有（ 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 (基幹型・協力型記入)	図書室の広さ		(258) m ²	
	医学図書数		国内図書： 6,040冊、国外図書： 1,210冊	
	医学雑誌数		国内雑誌： 104種類、国外雑誌： 8種類	
	図書室の利用可能時間		00:00 ～ 24:00 24時間表記	
	文献データベース等の利用環境		Medline等の文献データベース (1.) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1.) 有 0. 無)、 その他（ メディカルオンライン、医中誌 Web、UP TO DATE ） 利用可能時間（ 00:00 ～ 24:00 ）24時間表記	
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター (1.) 有 0. 無)、 その他（ ）	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 〇 3 〇 〇 6 5 臨床研修病院の名称： 秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院

[illegible]

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号：030065臨床研修病院の名称：秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院

項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。		※		
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士：12 名（常勤：12 名、非常勤： 名）	
			2. 作業療法士：11 名（常勤：11 名、非常勤： 名）	
			3. 臨床心理技術者：4 名（常勤：4 名、非常勤： 名）	
			9. その他の精神科技術職員： 名（常勤： 名、非常勤： 名）	
25. 第三者評価の受審状況 (基幹型記入)			1. ☒ （評価実施機関名：日本医療機能評価機構（H29 年 11 月 26 日）） 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。	
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。				
26. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：由利組合総合病院研修プログラム プログラム番号：30065503	
27. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次：9 名、2 年次：9 名	
28. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		ツガナ ニシナリ タミオ	
			氏名（姓） 西 成（名） 民 夫	
			所属 役職 内科 副院長	
			電話：(0184) 27—1200 F A X：(0184) 27—1277	
			e-mail：jimusitu@yuri-hospital.honjo.akita.jp	
			URL：http:// www.yuri-hospital.honjo.akita.jp	
	資料請求先		住所 〒015-8511（秋田 都・道・府・ ☒ 県） 由利本荘市川口字家後38	
			担当部門 担当者氏名 ツガナ サトウ ジュン	
			姓 名 佐 藤 隼	
			電話：(0184) 27—1200 F A X：(0184) 27—1200	
		e-mail：jimusitu@yuri-hospital.honjo.akita.jp URL：http://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp		
募集方法		☒ 公募 ☐ その他（具体的に： ）		
応募必要書類 (複数選択可)		☒ 履歴書、2. 卒業(見込み)証明書、3. 成績証明書、 ☐ 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）		
選考方法 (複数選択可)		☒ 面接 ☐ 筆記試験 ☐ その他（具体的に： ）		
募集及び選考の時期		募集時期：7 月 1 日頃から 選考時期：8 月 15 日頃から		
マッチング利用の有無		☒ 有 0. 無		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要：＊ 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 年 月 日)	
30. プログラム責任者の氏名等 (副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入) ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		(プログラム責任者) フリガナ ニシナリ タミオ 氏名(姓) 西 成 氏名(名) 民 夫 所属 内科 役職 副院長 (副プログラム責任者) 1. 有(名) 0. 無	
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		＊ 別紙4に記入	
32. インターネットを用いた評価システム		1. 有(EPOC ・その他()) 0. 無	
33. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦 2021 年 4 月 1 日	
34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。	
	常勤・非常勤の別	2. 病院独自の処遇とする。 1. 常勤 2. 非常勤	
	研修手当	一年次の支給額(税込み) 基本手当／月(499,800円) 賞与／年(759,086円)	二年次の支給額(税込み) 基本手当／月(531,400円) 賞与／年(1,250,400円)
		時間外手当： 1. 有 0. 無 休日手当： 1. 有 0. 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間(8:30 ～ 17:00) 24時間表記 休憩時間(60分) 時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無	
	休暇	有給休暇(1年次：10日、2年次：20日) 夏季休暇 1. 有 0. 無 年末年始 1. 有 0. 無 その他休暇(具体的に：盆休暇、各種慶弔休暇、産前産後休暇 等)	
	当直	回数(約 3回／月)	
	研修医の宿舍(再掲)	1. 有(単身用： 20戸、世帯用：手配可能) 0. 無(住宅手当： 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室(再掲)	1. 有(1室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険	公的医療保険(農林健保) 公的年金保険(厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 1. 有 0. 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 0. 無) 雇用保険 1. 有 0. 無	
	健康管理	健康診断(年 2 回) その他(具体的に)	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 1. する 0. しない 個人加入(1. 強制 0. 任意)	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： 1. 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： 1. 有 0. 無	
	35. 研修医手帳 (基幹型記入)		1. 有 0. 無
36. 連携状況 (基幹型記入)		＊ 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

- (4)「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 \text{（新入院患者数} + \text{退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について

- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷ 10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷ 100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和2年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称： 由利組合総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ニシナリ	タミオ	由利組合総合病院	副院長	研修管理委員長 プログラム責任者
姓 西成	名 民夫			
フリガナ ミナミヤ	ヨシヒロ	秋田大学医学部附属病院	院長	研修実施責任者
姓 南谷	名 佳弘			
フリガナ フナオカ	マサト	市立横手病院	副院長	研修実施責任者
姓 船岡	名 正人			
フリガナ スギタ	タキオ	横手興生病院	理事長・院長	研修実施責任者
姓 杉田	名 多喜男			
フリガナ イタガキ	ヒデヤ	本荘第一病院	診療科長	研修実施責任者
姓 板垣	名 秀弥			
フリガナ カネコ	ヨシヒコ	秋田県立リハビリテーション・ 精神医療センター	診療部長	研修実施責任者
姓 兼子	名 義彦			
フリガナ ナラ	マサユキ	国立病院機構あきた病院	院長	研修実施責任者
姓 奈良	名 正之			
フリガナ サソウ	マサユキ	かづの厚生病院	副院長	研修実施責任者
姓 笹生	名 昌之			
フリガナ ノグチ	ヒロオ	北秋田市民病院	副院長	研修実施責任者
姓 野口	名 博生			
フリガナ ハタノ	ヨシアキ	能代厚生医療センター	診療部長	研修実施責任者
姓 波多野	名 善明			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和2年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称： 由利組合総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ チュウバチ アキヒコ	湖東厚生病院	院長	研修実施責任者
姓 中鉢 名 明彦			
フリガナ サイトウ タカシ	秋田厚生医療センター	副院長	研修実施責任者
姓 齊藤 名 崇			
フリガナ ミウラ マサヒト	大曲厚生医療センター	院長	研修実施責任者
姓 三浦 名 雅人			
フリガナ フシミ エツコ	平鹿総合病院	診療部長	研修実施責任者
姓 伏見 名 悦子			
フリガナ テンマ カズオ	雄勝中央病院	院長	研修実施責任者
姓 天満 名 和男			
フリガナ アイザワ ミノル	由利本荘保健所	所長	研修実施責任者
姓 相澤 名 實			
フリガナ ウチャマ トシロウ	介護老人保健施設ひまわりの里	施設長	研修実施責任者
姓 内山 名 稔朗			
フリガナ オモカワ ススム	秋田県赤十字血液センター	所長	研修実施責任者
姓 面川 名 進			
フリガナ カタクラ ミキオ	元由利本荘市教育長		外部委員
姓 片倉 名 幹男			
フリガナ サトウ カズナリ	由利組合総合病院	院長	
姓 佐藤 名 一成			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和2年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称： 由利組合総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ キクチ トシヒコ	由利組合総合病院	副院長	
姓 菊池 名 俊彦			
フリガナ カルベ アキヒロ	由利組合総合病院	副院長	
姓 軽部 名 彰宏			
フリガナ サイトウ フミコ	由利組合総合病院	診療科長	
姓 齋藤 名 史子			
フリガナ アライ ナオキ	由利組合総合病院	診療科長	
姓 荒井 名 直樹			
フリガナ ヤマウチ ミサ	由利組合総合病院	診療科長	
姓 山内 名 美佐			
フリガナ オオバ レイ	由利組合総合病院	副院長・看護部長	
姓 大場 名 玲			
フリガナ ツルタ エリコ	由利組合総合病院	看護師長	
姓 鶴田 名 恵利子			
フリガナ マツダ シンゴ	由利組合総合病院	事務長	事務部門責任者
姓 松田 名 真吾			
フリガナ イトウ シンイチ	伊藤医院	院長	研修実施責任者
姓 伊藤 名 伸一			
フリガナ			
姓 名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院
病院施設番号：030065

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 （部 門）	小 児 科	産 婦 人 科			精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							又は						整 形 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数	2582	2484 (2484)	1066	-	808	1137 (384)	()		-				813	-	608	
年間新外来患者数	6513	3959	1485	-	3784	988			321				3617	1588	992	
1 日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	278. 8 (244)	35. 9 (365)	69. 3 (244)	- (244)	43. 9 (244)	63. 6 (244)	()	()	51. 2 (244)	()	()	()	123. 8 (244)	32. 2 (244)	89. 5 (244)	
平均在院日数	19. 9	-	17. 7	-	4. 9	9. 8			-				31. 8	-	15. 1	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	16 (9)	1 (1)	8 (5)	3 (2)	3 (1)	5 (3)	()	()	()	()	()	()	5 (2)	()	4 (2)	

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院
病院施設番号：030065

区 分	その他の研修を行う診療科															合 計
	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	脳神経外科	心臓血管外科	病理	その他									
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	464	188	-	711	128	-	-									10989
年間新外来患者数	876	2177	146	1636	128	-	-									28210
1 日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	62.1 (244)	358 (244)	6.1 (244)	38.0 (244)	15.4 (244)	- ()	- (-)	()	()	()	()	()	()	()	()	
平均在院日数	3.1	11.0	-	27.3	25.4	-	-									
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	5 (3)	1 (0)	2 (2)	18 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	75 (35)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1 日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和2年度分 ①)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	内科	5	5	4	6	6	6	6	6	5	5	6	5	5
秋田大学医学部附属病院	内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東北大学医学部附属病院	内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
能代厚生医療センター	内科													
秋田厚生医療センター	内科													
大曲厚生医療センター	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	内科													
雄勝中央病院	内科													
	内科 合計	10	10	9	11	11	11	11	11	10	10	11	10	10
由利組合総合病院	救急	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	救急	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	救急 合計	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和2年度分 ②)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	外科	4	4	5	4	4	5	4	5	5	3	4	4	4
秋田大学医学部附属病院	外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東北大学医学部附属病院	外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
能代厚生医療センター	外科	}												
秋田厚生医療センター	外科													
大曲厚生医療センター	外科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	外科													
雄勝中央病院	外科	}												
	外科 合計	9	9	10	9	9	10	9	10	10	8	9	9	9

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和2年度分 ③)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	小児科	1	1	1	1	1					1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本荘第一病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	小児科													
秋田厚生医療センター	小児科													
大曲厚生医療センター	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	小児科													
雄勝中央病院	小児科													
	小児科 合計	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和2年度分 ④)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	産婦人科	2	2	2	1		1	1	1			1	1	1
秋田大学医学部附属病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学医学部附属病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本荘第一病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	産婦人科	}												
秋田厚生医療センター	産婦人科													
大曲厚生医療センター	産婦人科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	産婦人科													
雄勝中央病院	産婦人科	}												
	産婦人科 合計	6	6	6	5	4	5	5	5	4	4	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分 ①)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	内科	5	5	4	6	6	6	6	6	5	5	6	5	5
秋田大学医学部附属病院	内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東北大学医学部附属病院	内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
能代厚生医療センター	内科													
秋田厚生医療センター	内科													
大曲厚生医療センター	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	内科													
雄勝中央病院	内科													
	内科 合計	10	10	9	11	11	11	11	11	10	10	11	10	10
由利組合総合病院	救急	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	救急	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	救急 合計	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分 ②)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	外科	4	4	5	4	4	5	4	5	5	3	4	4	4
秋田大学医学部附属病院	外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東北大学医学部附属病院	外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
能代厚生医療センター	外科	}												
秋田厚生医療センター	外科													
大曲厚生医療センター	外科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	外科													
雄勝中央病院	外科	}												
	外科 合計	9	9	10	9	9	10	9	10	10	8	9	9	9

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分 ③)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	小児科	1	1	1	1	1					1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本荘第一病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	小児科													
秋田厚生医療センター	小児科													
大曲厚生医療センター	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	小児科													
雄勝中央病院	小児科													
	小児科 合計	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分 ④)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	産婦人科	2	2	2	1		1	1	1			1	1	1
秋田大学医学部附属病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学医学部附属病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本荘第一病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	産婦人科	}												
秋田厚生医療センター	産婦人科													
大曲厚生医療センター	産婦人科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	産婦人科													
雄勝中央病院	産婦人科	}												
	産婦人科 合計	6	6	6	5	4	5	5	5	4	4	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分 ①)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	内科	5	5	4	6	6	6	6	6	5	5	6	5	5
秋田大学医学部附属病院	内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東北大学医学部附属病院	内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
能代厚生医療センター	内科													
秋田厚生医療センター	内科													
大曲厚生医療センター	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	内科													
雄勝中央病院	内科													
	内科 合計	10	10	9	11	11	11	11	11	10	10	11	10	10
由利組合総合病院	救急	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	救急	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	救急 合計	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分 ②)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	外科	4	4	5	4	4	5	4	5	5	3	4	4	4
秋田大学医学部附属病院	外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東北大学医学部附属病院	外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
能代厚生医療センター	外科	}												
秋田厚生医療センター	外科													
大曲厚生医療センター	外科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	外科													
雄勝中央病院	外科	}												
	外科 合計	9	9	10	9	9	10	9	10	10	8	9	9	9

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分 ③)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	小児科	1	1	1	1	1					1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本荘第一病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	小児科													
秋田厚生医療センター	小児科													
大曲厚生医療センター	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	小児科													
雄勝中央病院	小児科													
	小児科 合計	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分 ④)								臨床研修病院の名称：由利組合総合病院						
								病院施設番号：030065						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
由利組合総合病院	産婦人科	2	2	2	1		1	1	1			1	1	1
秋田大学医学部附属病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学医学部附属病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本荘第一病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	産婦人科	}												
秋田厚生医療センター	産婦人科													
大曲厚生医療センター	産婦人科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平鹿総合病院	産婦人科													
雄勝中央病院	産婦人科	}												
	産婦人科 合計	6	6	6	5	4	5	5	5	4	4	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

25. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称： 由利組合総合病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名： 由利組合総合病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	由利組合総合病院研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	本プログラムは必修分野で確実に目標に達成できるようにしながらも、選択ローテーションの予知を残したものである。将来の専門科が決定している場合、決定しない場合にも対応している。 原則は可能なかぎり内科系からはじめ、前半52週は必修分野（地域医療は後半）を研修し、後半に一部の必修分野と選択を研修するように設定した。外来研修は内科研修中にほぼ4週間を満たすことをまず目標とする。救急に関しては4週を上限とする麻酔科研修・救急室での日勤帯救急研修・当直研修で12週となる。				
3. 臨床研修の目標の概要	1. 医師が適切な指導医のもと、患者の健康上の問題解決に必要な幅広い知識と臨床能力を培うと共に、医学の進歩に対応に対応して自らの診療能力を開発できる基礎を養う。2. 医療における人間関係、特に医師と患者との関係についての理解を深め、併せて医の倫理を体得して、医師としての資質の向上を図る。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 2年の研修終了後も研修可能。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030065	由利組合総合病院	24週	4週
		030064	秋田大学医学部附属病院		
		031217	かづの厚生病院		
		031221	北秋田市民病院		
		031224	能代厚生医療センター		
		031234	湖東厚生病院		
		030929	秋田厚生医療センター		
		030829	大曲厚生医療センター		
		030066	平鹿総合病院		
		030979	雄勝中央病院		
	030937	市立横手病院	12週		
	030980	本荘第一病院			
救急部門	030065	由利組合総合病院	12週		
	030064	秋田大学医学部附属病院			
地域医療	030929	秋田厚生医療センター	4週	一般外来 3週 在宅診療 1週	
	030065	由利組合総合病院			
	031234	湖東厚生病院 伊藤医院			

病院で 定めた 必修 科目	<u>外科</u>	030065 030064 031217 031221 031224 031234 030929 030829 030066 030979 030937 030980	由利組合総合病院 秋田大学医学部附属病院 かつの厚生病院 北秋田市民病院 能代厚生医療センター 湖東厚生病院 秋田厚生医療センター 大曲厚生医療センター 平鹿総合病院 雄勝中央病院 市立横手病院 本荘第一病院	<u>4 週</u>	<u>週</u>
	<u>小児科</u>	030065 030064 031224 030929 030829 030066 030979	由利組合総合病院 秋田大学医学部附属病院 能代厚生医療センター 秋田厚生医療センター 大曲厚生医療センター 平鹿総合病院 雄勝中央病院	<u>4 週</u>	<u>週</u>
	<u>産婦人科</u>	030065 030064 031224 030929 030829 030066 030979	由利組合総合病院 秋田大学医学部附属病院 能代厚生医療センター 秋田厚生医療センター 大曲厚生医療センター 平鹿総合病院 雄勝中央病院	<u>4 週</u>	
	<u>精神科</u>	030065 030064 032471 031235	由利組合総合病院 秋田大学医学部附属病院 横手興生病院 秋田県立リハビリテーショ ン・精神医療センター	<u>4 週</u>	
	<u>一般外来</u>			<u>4 週</u>	
					<u>週</u>
					<u>週</u>
					<u>週</u>
					<u>週</u>
					<u>週</u>

選択 科目	自由選択	030065 030064 031217 031221 031224 031234 030929 030829 030066 030979 030937 030980 031235 032471 034812 032464 056463 032476	由利組合総合病院 秋田大学医学部附属病院 かつの厚生病院 北秋田市民病院 能代厚生医療センター 湖東厚生病院 秋田厚生医療センター 大曲厚生医療センター 平鹿総合病院 雄勝中央病院 市立横手病院 本荘第一病院 秋田県立リハビリテーショ ン・精神医療センター 横手興生病院 国立病院機構あきた病院 秋田県由利本荘保健所 老人保健施設ひまわりの里 秋田県赤十字血液センター 伊藤医院	4 4 週	<u>週</u>
備考：前半52週は必修分野（地域医療は後半）を研修し、後半に一部の必修分野と選択を研修するように設定した。外来研修は内科研修中にほぼ4週間を満たすことをまず目標とする。救急に関しては4週を上限とする麻酔科研修・救急室での日勤帯救急研修・当直研修で12週となる。4週以上のブロック研修を行うので、その後の当直1回は並行研修1日と換算したうえで、救急以外の科の期間は全体の残り44週から調整する。内科研修のあと、後半52週を含めて外科・小児科・産婦人科・精神科の研修もある。これらの科の希望者は当該科を8週以上研修することが望ましい。必修目標に到達できない場合は上記44週の一定期間を使用して到達できるように研修する。 以上で目標が達成されていれば、さらに将来の志望科や、関連する希望診療科を研修医に選択してもらい、それらの研修を行うことができる。この残り44週に関しては研修医個人の状況に応じたフレキシブルな対応を考えている。					

号は、既已取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：由利組合総合病院臨床研修病院群

プログラム番号

(No. 1)

病院又は施設の名称(病院施設番号)	研修分野＊２	<u>1～</u> <u>4 週</u>	<u>5～</u> <u>8 週</u>	<u>9～</u> <u>12 週</u>	<u>11～</u> <u>16 週</u>	<u>17～</u> <u>20 週</u>	<u>21～</u> <u>24 週</u>	<u>25～</u> <u>28 週</u>	<u>29～</u> <u>32 週</u>	<u>33～</u> <u>36 週</u>	<u>37～</u> <u>40 週</u>	<u>41～</u> <u>44 週</u>	<u>45～</u> <u>48 週</u>	<u>49～</u> <u>52 週</u>
由利組合総合病院(030065)	内科	9	9	9	9	9	9							
秋田大学医学部附属病院(030064)														
かづの厚生病院(031217)														
北秋田市民病院(031221)														
能代厚生医療センター(031224)														
湖東厚生病院(031234)														
秋田厚生医療センター(030929)														
大曲厚生医療センター(030829)														
平鹿総合病院(030066)														
雄勝中央病院(030979)														
市立横手病院(030937)														
本荘第一病院(030980)														
由利組合総合病院(030065)	外科							5			4			
秋田大学医学部附属病院(030064)														
能代厚生医療センター(031224)														
秋田厚生医療センター(030929)														
大曲厚生医療センター(030829)														
平鹿総合病院(030066)														
雄勝中央病院(030979)														
市立横手病院(030937)														
本荘第一病院(030980)														

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号： 030065

臨床研修病院群名：由利組合総合病院臨床研修病院群

臨床研修病院群名：由利組合総合病院臨床研修病院群

プログラム番号

(No. 2)

49 ~
52 週

雄勝中央病院(030979)

小児科

雄勝中央病院(030979)

産婦人科

秋田厚生医療センター(030929)

救急

秋田県由利本荘保健所（032464）
老人保健施設ひまわりの里（056463）
秋田県赤十字血液センター（032476）
伊藤医院

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称： 由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	朝倉 健一	由利組合総合病院	医療顧問	42	○	総合内科専門医、腎臓専門医 リハビリ認定臨床医、リウマチ専門医 臨床研修指導医養成講習会 修了 医師臨床研修制度、研修管理委員会、委員長研修修了		4
内科	西成 民夫	由利組合総合病院	副院長	37	○	総合内科専門医、血液専門医 人間ドック認定医 東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ 修了		1. 3. 4
内科	黒木 淳	由利組合総合病院	診療部長	31	○	総合内科専門医、血液専門医、ICD 秋田県臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ 修了		4
内科	猪又 美佳	由利組合総合病院	診療科長	17	○	認定内科医、血液専門医 秋田県臨床研修協議会医師臨床研修指導医ワークショップ 修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
循環器内科	中西 徹	由利組合総合病院	診療部長	33	○	秋田県臨床研修対策協議 会医師臨床研修指導医ワ ークショップ 修了		4
外科	平野 裕	由利組合総合病院	副院長	38	○	臨床研修指導医養成講習 会 修了 プログラム責任者養成講 習会 修了		4
外科	戸沢 香澄	由利組合総合病院	診療部長	29	○	外科専門医、呼吸器外科 専門医 消化器外科認定医、胸部 外科学会認定医 東北ブロック医師臨床研 修指導医ワークショップ 修了		4
外科	佐々木 晋一	由利組合総合病院	診療科長	27	○	外科専門医 秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修 指導医ワークショップ 修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
外科	折野 公人	由利組合総合病院	診療科長	27	○	外科専門医、呼吸器外科 専門医 胸部外科学会認定医、気 管支鏡指導医・専門医 秋田県臨床研修対策協議 会医師臨床研修指導医ワ ークショップ 修了		4
整形外科	菊池 俊彦	由利組合総合病院	副院長	38	○	整形外科専門医、認定ス ポーツ医 リハビリ認定臨床医 東北ブロック医師臨床研 修指導医ワークショップ 修了		4
整形外科	長谷川 朗彦	由利組合総合病院	診療部長	35	○	整形外科専門医、認定リ ウマチ医 認定スポーツ医、リハビ リ認定臨床医 秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修指導医ワーク ショップ 修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
整形外科	野口 英明	由利組合総合病院	診療科長	19	×	整形外科専門医		
整形外科	白幡 毅士	由利組合総合病院	診療科長	18	×	整形外科専門医		
整形外科	鈴木 紀夫	由利組合総合病院	診療科長	19	○	整形外科専門医 医師臨床研修指導医ワー クショップ 修了		4
脳神経外科	菊地 顕次	由利組合総合病院		43	○	脳神経外科専門医 秋田県厚生農業協同組合 連合会臨床研修指導医ワ ークショップ 修了		4
脳神経外科	須田 良孝	由利組合総合病院	診療部長	36	○	脳神経外科専門医 脳神経血管内治療専門医 脳卒中専門医、リハビリ 認定臨床医 臨床研修指導医養成講習 会 修了		4
心臓血管外 科	松川 誠	由利組合総合病院	診療部長	27	×			

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
産婦人科	軽部 彰宏	由利組合総合病院	副院長	32	○	産婦人科専門医、優性保護指定医 秋田県臨床研修協議会医師臨床研修指導医ワークショップ 修了		4
産婦人科	齋藤 史子	由利組合総合病院	診療科長	17	○	産婦人科専門医、秋田県医師会指導医のためのワークショップ修了		4
眼科	傳法 毅久	由利組合総合病院	診療科長	18	○	秋田県医師会指導医のためのワークショップ修了		4
耳鼻咽喉科	山田 昌次	由利組合総合病院	診療部長	36	○	耳鼻咽喉科専門医 秋田県臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ 修了		4
放射線科	齋藤 裕	由利組合総合病院		41	○	放射線診断専門医 秋田県臨床研修協議会医師臨床研修指導医ワークショップ 修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式 8 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 0 3 0 0 6 5

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
救急	山崎 豊	由利組合総合病院	副院長	32	○	麻酔指導医 ペインクリニック専門医 秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修指導医ワーク ショップ 修了		4
麻酔科	齋藤 厚	由利組合総合病院		24	○	麻酔科専門医、秋田県臨 床研修協議会医師臨床研 修指導医ワークショップ 修了		4
麻酔科	岩谷 久美子	由利組合総合病院	診療部長	24	○	麻酔科指導医・専門医 東北ブロック医師臨床研 修指導医ワークショップ 修了		4
病理診断科	杉田 暁大	由利組合総合病院	診療部長	24	○	病理学会専門医、細胞診 専門医 臨床検査管理医 秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修指導医ワーク ショップ 修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式 8 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 0 3 0 0 6 5

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
病理診断科	山内 美佐	由利組合総合病院	診療科長	19	○	病理学会専門医、細胞診 専門医 秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修指導医ワーク ショップ 修了		4
泌尿器科	佐藤 一成	由利組合総合病院	院長	40	○	プログラム責任者養成講 習会修了 秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修指導医ワーク ショップ修了		4
外科	佐々木 靖博	由利組合総合病院	診療科長	19	○	日本外科学会専門医 秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修指導医ワーク ショップ 修了		4
耳鼻咽喉科	荒井 直樹	由利組合総合病院	診療科長	27	○	日本耳鼻咽喉科学会専門 医等 秋田県医師会指導医養成 のための教育ワークショ ップ 修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
産婦人科	金森 勝裕	由利組合総合病院	診療科長	11	○	産婦人科専門医、秋田県 医師会指導医養成のため の教育ワークショップ 修了		4
消化器内科	道免 孝洋	由利組合総合病院	診療科長	17	×	総合内科専門医、肝臓専 門医、消化器内視鏡専門 医		
消化器内科	荒田 英	由利組合総合病院	医長	11	×	認定内科医		
泌尿器科	千葉 修治	由利組合総合病院	診療科長	15	○	泌尿器科専門医、透析専 門医、秋田県医師会指導 医のための教育ワークシ ョップ修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	阿部 史人	由利組合総合病院	診療科長	10	○	秋田県医師会指導医養成 のための教育ワークショ ップ 修了		4
消化器内科	大嶋 重敏	由利組合総合病院	診療科長	27	○	秋田県医師会指導医養成 のための教育ワークショ ップ 修了		4
消化器内科	岩塚 邦生	由利組合総合病院		8	○	日本大学医学部臨床研修 指導医のための教育ワー クショップ 修了		4
小児科	井上 雅貴	由利組合総合病院	診療科長	12	○	秋田県臨床研修協議会医 師臨床研修指導医ワーク ショップ 修了		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030065

臨床研修病院の名称：由利組合総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
循環器内科	山中 卓之	由利組合総合病院	医長	7	○	秋田県医師会指導医養成 のための教育ワークショ ップ 修了		4
脳神経外科	山口 卓	由利組合総合病院	診療科長	19	○	東北ブロック医師臨床研 修指導医ワークショップ		4

※ 「担当分野」欄には、様式 8 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：由利組合総合病院（ 秋田県 ）

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
秋田県	由利本荘・にかほ	由利組合総合病院 (病院施設番号:030065)		秋田県	秋田周辺		秋田大学医学部附属病院 (病院施設番号:030064)		秋田県	由利本荘・にかほ		国立病院機構あきた病院 (病院施設番号:034812)		由利組合総合病院研修プログラム	
				秋田県	横手		市立横手病院 (病院施設番号:030937)		秋田県	由利本荘・にかほ		秋田県由利本荘保健所 (病院施設番号:032464)			
				秋田県	由利本荘・にかほ		本荘第一病院 (病院施設番号:030980)		秋田県	由利本荘・にかほ		老人保健施設ひまわりの里 (病院施設番号:056463)			
				秋田県	大館・鹿角		かつの厚生病院 (病院施設番号:031217)		秋田県	秋田周辺		秋田県赤十字血液センター (病院施設番号:032476)			
				秋田県	北秋田		北秋田市民病院 (病院施設番号:031221)		秋田県	由利本荘・にかほ		伊藤医院 (病院施設番号:)			
				秋田県	能代・山本		能代厚生医療センター (病院施設番号:030224)					(病院施設番号:)			
				秋田県	秋田周辺		湖東厚生病院 (病院施設番号:031234)					(病院施設番号:)			
				秋田県	秋田周辺		秋田厚生医療センター (病院施設番号:030929)					(病院施設番号:)			
				秋田県	大仙・仙北		大曲厚生医療センター (病院施設番号:030829)					(病院施設番号:)			
				秋田県	横手		平鹿総合病院 (病院施設番号:03066)					(病院施設番号:)			
				秋田県	湯沢・雄勝		雄勝中央病院 (病院施設番号:030979)					(病院施設番号:)			
				秋田県	大仙・仙北		秋田県立リハビリテーション・精神医療センター (病院施設番号:031235)					(病院施設番号:)			
				秋田県	横手		横手興生病院 (病院施設番号:032471)					(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。